

公益社団法人鹿沼市シルバー人材センター 令和4年度事業計画

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染対策の強化やワクチン接種の推進等により、感染者数が減少傾向にあります。終息の見通しは立たず、市内の経済状況は依然厳しい状況が予想されます。

個人消費は一部持ち直しの動きは見られますが、雇用情勢の動きは下げ止まりつつあるものの依然弱く、さらなる経済対策が必要とされています。当センターにおいても感染症の影響は昨年度に続き甚大であり、前年度の実績は上まわりましたが、一昨年度までの実績には回復していない状況であります。

今年度も徹底した感染症対策に努めるとともに、仕事と会員の確保はセンター事業の根幹であることから、シルバー人材センターへの受注動向や地域社会からの期待等を注視しながら、会員役職員が一体となって業績回復に向けて努めてまいります。

センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、重要案件である会員の増強と高齢者に適した就業機会の拡大に積極的に取り組み、元気で意欲溢れる高齢者が長年培ってきた経験や技能を活用して、社会参加することにより、地域に根差したセンター事業の更なる発展を目指して次の事業を推進していきます。

2. シルバー人材センター事業

(1) 就業機会提供事業

市内在住の60歳以上の高齢者に対し、次の形態で就業の機会を提供します。

① 請負・委任による事業

民間や公共機関等から請負った「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る仕事について、当センターの会員に対し、「請負・委任」契約により提供します。

② 独自事業

会員に対する就業機会拡大、及び地域社会にシルバー人材センター事業をPRすることを目的に、新規事業の検討及び既存事業（手芸品製作・販売、各種講習会）の強化を目指します。

③ 職業紹介事業

一般の高齢者で雇用による就業を希望する者に対して、職業紹介事業を実施します。

④ 労働者派遣事業

派遣労働を希望する当センター会員を労働者の派遣を希望する民間企業や公共団体等に派遣し、派遣先の指揮命令を受けて役務を提供する労働者派遣事業を実施します。

(2) 会員増強と就業機会確保事業

市内在住の60歳以上の高齢者に対して、「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に係る就業機会を確保するために、次の事業を実施します。

① 就業開拓事業

新たな就業先や新規受注を確保するため、保存版チラシの活用を呼びかけ、友人・知人などに配布し、センター事業をPRすると同時に、理事、専門部会員等による企業訪問を実施し、就業機会の確保に努めます。

② 普及・啓発事業

シルバー人材センターが、不特定多数の高齢者の就業機会を確保・提供していることを広報・周知し、働く意欲のある高齢者の入会促進と提供する仕事の募集に努めます。

ア) 対象者…… *鹿沼市内の一般高齢者：会員募集

*鹿沼市内の一般家庭及び事業者等：受注拡大

イ) 啓発媒体…… *会員募集：入会説明会を開催する。

*会員募集及び受注拡大：以下のとおり実施します。

- 1) 全世帯への「保存版チラシ」の配布
- 2) 「広報かぬま」への記事掲載
- 3) ケーブルテレビでの「入会説明会のお知らせ」の放映
- 4) 街頭でのPR活動の実施
- 5) 社会奉仕活動の実施、各種イベントへの参加
- 6) 会員による「名刺版PRカード」の配布
- 7) 定期的なホームページの更新
- 8) 各種講習会の開催
- 9) 市役所等窓口にPRチラシを常設・配布

③ 相談事業

理事が対応者として、毎月1回、会員及び市内高齢者の為の相談日を設け、就業に関する相談に限らず生活全般の相談に応じます。

④ 調査研究事業

会員の安全就業や会員登録希望者を掘り起こす方策などを検討する目的で、アンケート調査を実施します。

ア) 対象者…… *会 員

*一般市民

イ) 全会員対象アンケート調査……安全に関する意識、及びシルバー事業に係る全般的な意識調査を行います。

ウ) 一般市民対象アンケート調査……センターのイメージや事業のサービス内容の改善・充実を目的に、イベント等の来場者に対するアンケート調査を実

施します。

(3) 安全・適正就業推進事業

① 安全・適正就業対策の推進

センター会員に対し、安全就業並びに交通安全等について、積極的な対策を実施し事故の撲滅を図ります。また、安全・適正就業基準を遵守した就業となるよう次の取組みを行います。

ア) 対象者…会 員

イ) 就業現場パトロール…安全・適正就業委員会が中心となり、会員就業現場のパトロールを実施し、作業内容の確認、作業別安全就業基準の遵守徹底に努めます。

ウ) 会員研修…就業途上及び公用車利用者の事故を防止するため、鹿沼警察署等の協力により、交通安全講習会を実施します。また、新入会員及び入会后4年目の会員研修にも安全及び適正就業研修を実施します。

エ) 体力測定…個々の会員が自己の体力の現状を認識し、希望する職種への体力が伴っているかを判断する機会として体力測定を実施します。

オ) 運動習慣…「会員健康の日」の徹底により、健康的な生活・運動習慣の意識づけをします。また、就業前の準備体操として「シルバー体操」を周知し、習慣化に努めます。

カ) 夏場の就業体制の整備…屋外作業について作業時間帯を調整し、特に7月～9月間は作業時間を12時までとし、就業開始時刻は、発注者並びに就業会員同士で調整する等の熱中症対策を推奨します。

② 適正就業に関する取扱要綱の推進

要綱に基づき会員の適正な就業、公平な就業機会の提供を推進するため、就業交代制度の利用促進を図るとともに、あらゆるハラスメント行為の防止と就業適性の目安とするため、代表理事による個別面談を実施します。

3. 第五次中期計画の実施

事業推進の基本となる第五次中期計画に基づき、今年度に取り組むべき事業実施計画（アクションプラン）を確実に実施していきます。

4. 法人運営

定款に定める当センターの事業目的に沿って運営できるよう、次の会議を開催します。

① 理事会

事業執行状況や会員の入会承認など当センターの事業運営にとって重要な案件を審議・決定するため、年に12回程度開催します。

② 総会

定時総会を6月に開催します。